

2024年11月11日

東北大学大学院法学研究科学生等支援基金
在外研究報告書

法学研究科長 殿

職名 准教授

氏名 池田悠太

1. 研究期間：
2022年9月1日～2024年8月31日（2年）
2. 研究場所：
パンテオンーアサス大学（パリ第2大学・フランス）法社会学研究所
3. 研究テーマ：
法社会学との関係における民法学の方法に関する研究及びその身分論への応用
4. 研究報告・研究実績
本研究のうち、法社会学との関係における民法学の方法に関する研究は、まず、法社会学の方法に関する研究を前提とする。それはまずは、パンテオンーアサス大学において民法学者が担当する複数の法社会学の講義・演習に参加することによって、遂行された。また、民法学の方法に関する研究は、フランスにおける議論状況を念頭に置きながら、日本の民法学の方法について考察することによって主に行われた。それは、フランス語の論文「日本における民法（学）と社会」をフランスの Les Cahiers Portalis 誌に公表し、パンテオンーアサス大学法社会学研究所の主催する研究会においてフランス語の講演「日本における（裁判官の）解釈」を行ったことに結びついており、それによって、フランスの研究者との対話も可能となった。日本の民法学の方法に関する検討は、必然的に法社会学との関係に関する検討を含むものであった。それに対して、今日のフランスにおける法社会学と民法学との接続は必ずしも見出せなかったが、民法学者が社会に向ける視線の例を実感することができた。 方法に関する研究の身分論への応用のためには、まず、講義の聴講や教科書の通読を通じてフランス法についての体系的な知識を得たうえで、一方で、日本における身分論についての検討を、フランスにおける議論状況を念頭に置きながら行い、2023年12月には「中川善之助の家族法学に関する一考察」、2024年1月には「我妻榮の家族法学に関する一考察」という2つの日本語論文を脱稿した。いずれも近刊の予定である。身分論との関係で、社会学に対するそれぞれの向き合い方も明らかにできたと思われ、重要な例を得られたと

思われる。他方で、フランスにおける議論としては、再構成家族に関するものの検討を、日本における議論状況を念頭に置きながら行った。2023 年 3 月 14 日及び同年 4 月 17 日には、パンテオン・アサス大学法社会学研究所が主催する「21 世紀の再構成家族」と題するコロックが開催され、そこで「日本における再構成家族」と題する報告を行うとともに、フランスの立法者や民法学が、家族の再構成という現象を観察し、そこに法的にも意味のある問題を見出し、法に反映させるさまを、親族法・相続法を中心とするフランスの実定法に即して、知ることができた。方法論と身分論との一般的な接続につながる基礎を得られたものと思われる。

< 在外研究に基づく研究成果発表（論文・口頭報告等） >

（上記研究テーマに直接関係するものに限る）

論文

- ・「Droit civil et société au Japon. Quelques réflexions sur la méthode en droit civil」 Les Cahiers Portalis 11 号 147-156 頁（2023 年 6 月）
- ・「中川善之助の家族法学に関する一考察」家族法学の過去・現在・未来（仮）（有斐閣、近刊予定）
- ・「我妻榮の家族法学に関する一考察」五十年後の我妻法学（仮）（有斐閣、近刊予定）

記事

- ・「La Cour suprême japonaise juge inconstitutionnelle la condition de stérilité posée à l'égard d'un changement de sexe」 Le club des juristes（2023 年 12 月）

口頭報告

- ・2023 年 3 月 15 日「Droit civil et société au Japon」（Université de Bordeaux）
- ・2023 年 4 月 17 日「Les familles recomposées au Japon」（Les séminaires du Laboratoire de sociologie juridique « Familles recomposées au XXIème siècle. Du privé et du politique : quels enjeux pour la loi civile ? »（Université Paris-Panthéon-Assas））
- ・2024 年 4 月 10 日「Interprétation au Japon : méthodes d'interprétation en droit civil faces à des courants étrangers」（La conférence du Laboratoire de sociologie juridique « Le pouvoir d'interprétation du juge : réflexions croisées »（Université Paris-Panthéon-Assas））